

## 大阪高等学校体育連盟バドミントン専門部

### コーチングに関するローカルルール

大阪高等学校体育連盟バドミントン専門部（以降「本専門部」）では、大阪の大会に、できるだけ多くの高校生に選手として参加してもらうため、やむを得ず一部ショートゲームを導入しています。

本専門部では、できるだけショートゲームを正式ゲームに近い形で運営していきたいと考え、次のようにローカルルールを規定いたします。また、併せて「正しいコーチング」を顧問・コーチの方にご理解いただきたく、この文書を作成しました。ぜひ、ご一読いただき、この文書に沿った「正しいコーチング」で、選手たちを導いていただきたいと思います。

**まず、正式ゲームでの、コーチング（アドバイス）・試合進行に関するルール・マナーを確認します。**

インターハイなどで通常運用されているものです。

ただし、本専門部の正式ゲームでは、審判資格を持たない高校生が敗者審判等で審判を行っていますので、その点も考慮し、若干の修正を加えています。

ここに書いてある用語等が理解できない方は、コーチングに入る資格がないと思っています。

1. 試合開始時、選手は荷物を主審側のサイドに置く。  
※本来は、脱衣かごなどが置いてあります。本専門部では、シートを設置しますので、そこに荷物を置くようにしてください。
2. コーチングシートにつけるのは **ID カード**を持った者のみで、2名まで。  
※本専門部では、**ID カード**は発行していません。  
※本専門部では、指導者（大人）のみがコーチングシートにつけるものとします。  
※以下、コーチングシートに座る者を「コーチ」と呼びます。
3. コーチは、競技の品格を保つため、必ずシューズをはく。素足、スリッパ、サンダル等は認めない。  
※本専門部では、強制はしませんが、努力目標とします。  
※近畿大会以上では、本当に入れてもらえないです。
4. コーチは、選手がプレイをするサイドの定められたいすに座る。（通常はコートの手前）  
つまり、チェンジエングスの際は、コーチもサイドを替える。
  - ・試合開始時には着席しているべきであり、途中で退席すべきでもない。（努力目標）
  - ・他競技で見かけられるように、コーチングシートから離れてアドバイスをすることはできない。  
（下の6. 7. の場合を除く）
5. コーチは、インプレー（ラリー）中に、アドバイスをしてはならない。
6. 各ゲーム中に最初に11点に達したときに1分以内のインターバルをとることができる。このときにアドバイスが可能である。  
注意：
  - ・アドバイスをを行う場所：荷物を置いている主審の横。  
※選手をコーチングシートに呼び寄せるのではない。
  - ・20秒前にはアドバイスを終え、1分の時点ではプレイが再開されるようにする。  
※本来は、主審が促しますが、審判資格のない高校生ですのでご自分でも判断してください。
  - ・ファイナルゲーム時には、まずチェンジエングスを行うこと。この時間も含めて、1分である。
7. ゲームとゲームの間の時に2分以内のインターバルをとることができる。  
このときにアドバイスが可能である。  
注意：
  - ・まず、チェンジエングスを行う。
  - ・アドバイスをを行う場所：荷物を置いている主審の横。  
※選手をコーチングシートに呼び寄せるのではない。
  - ・20秒前にはアドバイスを終え、2分の時点ではプレイが始まるようにする。

※本来は、主審が促しますが、審判資格のない高校生ですのでご自分でも判断してください。

8. コーチは、上記6. 7. 以外に、インプレーでないときに、コーチングシートからアドバイスをすることができる。しかしそれは試合進行を妨げるものであってはならない。通常、プレイヤーが面と向かって聞き入るようなアドバイスをしてはならないとされています。

例：コーチの方を向かせてアドバイスをを行う。

例：コーチングシートに来させる。 など。

9. コーチ（監督）は、プレイの判定等に関して、主審に抗議することは一切できない。プレイヤーのみが、主審に「質問」することができる。（団体戦の場合は監督も「質問」することができる）

10. コーチングシートは応援席ではない。度を過ぎた応援行為は慎むべきである。

#### 11. 団体戦におけるコーチングについて

・コーチングシートは原則、主審側とは反対のサイドにおきます。

運用については、個人戦の場合と同じとします。

・これにより、従来ベンチに置いてあった椅子は、今後置きません。監督（顧問）で、コーチングシートに座りたくない場合は、コートの手後ろに選手とともに床に直接座っていただきます。

### 本専門部ショートゲームにおけるローカルルール

上記1. ～11. に関してひとつずつ確認します。

1. これまで規定していませんでしたが、正式ゲームと同じとします。

2. 正式ゲームと同じとします。

3. 正式ゲームと同じとします。

4. 正式ゲームと同じとします。

5. 正式ゲームと同じとします。

6. ショートゲームですので、これは認めません。

※ファイナルゲームの場合、8点でチェンジエンスになるが、このときアドバイスはできない。

7. ゲームとゲームの間の時に1分以内のインターバルをとることができる。とします。

以降の注意については、正式ゲームと同じとします。

8. 正式ゲームと同じとします。

9. 正式ゲームと同じとします。

10. 正式ゲームと同じとします。

11. 正式ゲームと同じとします。

### 正式ゲームと異なる部分のまとめ（本専門部に関してです）

| 項目                 | 正式ゲーム             | 本専門部ショートゲーム |
|--------------------|-------------------|-------------|
| ゲーム中の席を立ってもよいコーチング | 最初に11点に達したときに1分以内 | なし          |
| ゲーム間のコーチング         | 2分以内              | 1分以内        |

※コーチングシートは通常1個しか椅子を置いていません。2名入られる場合は、その旨本部に申し出てください。2名入られる場合はきわめて少ないこと、安いとはいえ、椅子を借りるのにも料金があるための措置です。ご了解ください。

なお、附則ですが、プレイヤーは、荷物の中にドリンク以外の飲食物（ゼリーなど）、および氷を持ち込むことはできません。コーチは、冷却用の氷を持ち込むことはできますが、フロアが濡れないように配慮する義務があります。また大型のクーラーボックスなどはフロアに持ち込めません。